

2012年2月15日

各 位

大京グループ

**大京アステージ、ジャパン・リビング・コミュニティ主催の
マンション管理セミナー「過去の大震災から学ぶ本当に必要な防災対策」
～ 管理組合の役員様等 60組・70名が参加 ～**

大京グループのマンション管理事業等を手掛ける株式会社大京アステージ（本社：東京都渋谷区、社長：益田知）と株式会社ジャパン・リビング・コミュニティ（本社：東京都新宿区、社長：佐野俊実）は、2月12日（日）にマンション管理セミナー「過去の大震災から学ぶ本当に必要な防災対策」を開催し、60組・70名もの管理組合役員様等の参加で大盛況となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開催日時：2012年2月12日（日）13:00～15:30
2. 場 所：オリックス千駄ヶ谷ビル（東京都渋谷区千駄ヶ谷4-19-18）
3. 内 容：「過去の大震災から学ぶ本当に必要な防災対策」
4. 参加者：60組・70名

<第1部> 「地震 ITSUMO 講座」

講師：NPO 法人プラス・アーツ 理事長 永田 宏和 氏

1995年に兵庫県南部を襲った「阪神・淡路大震災」の被災者167名の声から得られた、防災の教訓や知恵、技を集めた講座です。

地震に関する体験談をふまえ、①これから起こりうる地震に対してできる備え、②防災のもう一つの大きな力である「地域のつながり」の再生、復活という視点では、マンション管理組合主催、マンション管理会社の協賛としては全国で初めて行われた「イザ！カエルキャラバン！ in ほたるまち」の様子について、③防災のこれからを考えるにあたり、“マンション住民の防災意識”や“地域コミュニティ”との関わり方は大きな課題、等についてわかりやすく説明しました。

<第2部> 「災害に強い管理組合が行っていたこと」

講師：株式会社大京アステージ 小野里・山下

2011年3月に東日本大震災が発生した際に、「災害に強い」管理組合さまは、マンション内でどのような対応を取ったのか？ 管理会社とどのような関係であれば、マンション内の日常的な防災意識を高められるか？ 等を、東北エリアでの事例をもとにご説明しました。

5. 参加者の声

- ・私のマンションでは大京グループのような震災対応情報の提供がありません。大京グループの企業姿勢、取り組み体制を大いに評価します。
- ・とても充実したセミナー内容でした。このようなセミナーを他のマンション居住者にも聞かせて防災の意識を高めてほしいと思いました。
- ・戸建ての人も含めたご近所との「共助」も大切だと感じました。

6. セミナー風景



主催者からの挨拶風景（大京アステージ取締役・山下）



「第1部 地震 ITSUMO 講座～マンション編～」風景



第2部「災害に強い管理組合が行っていたこと」風景



セミナー終了後に防災備品に見入る参加者

以上

◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆
株式会社大京 広報・IR室（伊奈、丸山） TEL：03-3475-3802